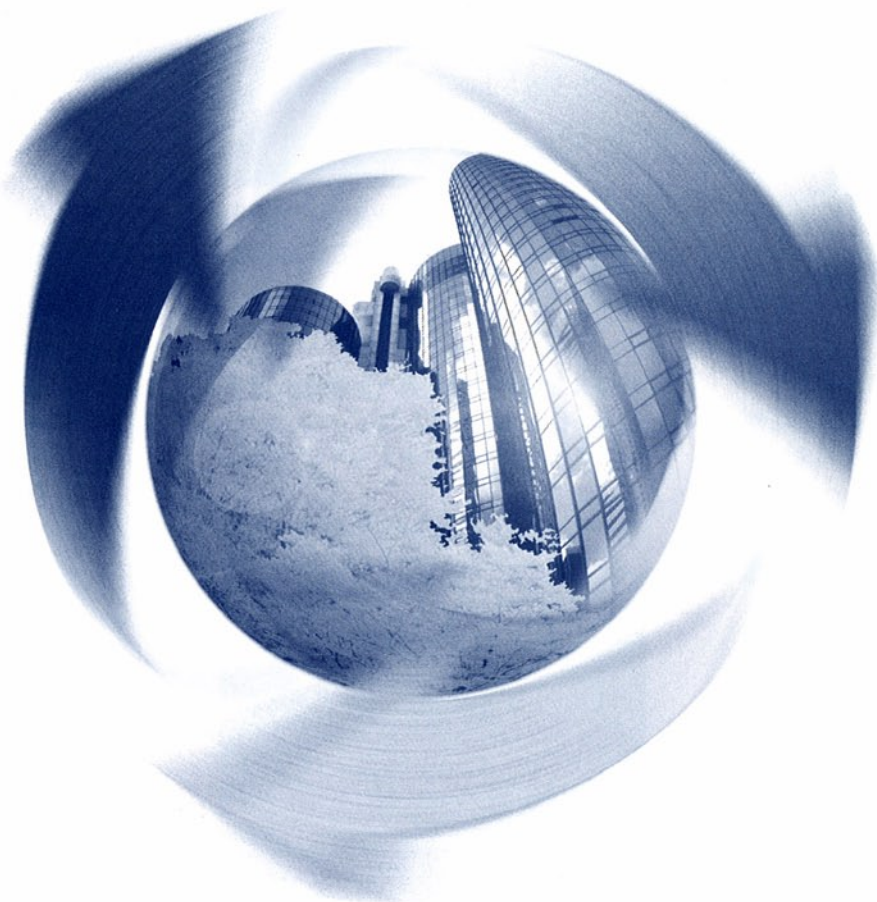




HEATING, VENTILATING, AIR-CONDITIONING AND REFRIGERATING EXPO.

展示会報告書

～HVAC&R JAPAN 2002へ向けて～



地球環境と21世紀の冷凍・空調テクノロジー

21st Century Refrigeration and Air-conditioning Technology-Pledged to Save the Environment

2000 **22** TUE **25** FRI

■主催:  社団法人 **日本冷凍空調工業会**

■会場: 東京ビッグサイト(東京国際展示場) 西展示場(西1・2ホール)

■主催者(社)日本冷凍空調工業会が
1999年2月に創立50周年を迎えたことを記念し、
特別企画展示コーナーを設置。
その充実した内容にたくさんの反響がありました。



■意欲的な新規出展者が続々と参入。
HVAC&R JAPANで新たなビジネスの開拓に取り組む出展者が確実に増加しました。



■地球環境保護をテーマに掲げた今回、環境に配慮した製品・技術が所狭しと出展され、常ににぎやかな情報交換・商談が繰り広げられました。



環境に配慮した製品・技術の出展にはエコボードが提示されました。

■海外からの直接出展・来場とも目を見張るほど増加しました。
国際性の高いトレードショーに成長しました。



■省エネルギーと冷媒をテーマに扱った講演会は二日間とも大盛況。
地球環境問題への関心の高さが改めて浮き彫りになりました。



過去最高の来場者数を数え、
展示会が大きく盛り上がりました。

目次	
はじめに.....1	併催行事.....8
実施概要.....2	来場者アンケート.....10
来場者数・来場者概要.....3	出展者アンケート.....11
50周年特別企画.....4	広報・宣伝活動.....12
出展企業団体一覧.....6	

◆ はじめに ◆

HVAC&R JAPAN 2000 (第31回冷凍・空調・暖房展)は、去る平成12年2月22日(火)より2月25日(金)の4日間にわたり東京ビッグサイトにおいて開催され、盛況裡に終了いたしました。

社団法人日本冷凍空調工業会の創立50周年を飾るにふさわしい展示会となりましたことに、心より厚く御礼申し上げます。

冷凍空調産業界における最大規模のトレードショーとして位置づけられる本展示会には、国内外から多くの出展者が参加され、経済が低迷する中であってもお蔭様で124社 504小間の規模を確保することが出来ました。また、海外よりの来場者の大幅増や出展企業による熱心な来場勧誘、天候にも恵まれた事により、総来場者数は延べ96,000人を超え、過去最高の記録となりました。

今回のテーマ「地球環境と21世紀の冷凍・空調テクノロジー」が表わすとおり、会場では各出展者が総力を挙げて地球環境保護のための製品及び技術を来場者にアピールし、会場は終始活況を呈しました。また、同テーマに基づいて開催された講演会も連日大入りの盛況となり、地球環境問題がいかに関係者の関心の的となっているかを示すものでありました。

社団法人日本冷凍空調工業会創立50周年を記念して会場入口前に設置した「特別企画展示コーナー」では、冷凍空調産業の歴史や地球環境問題への工業会の取組みが紹介され、中には熱心に内容を書き取る来場者も見受けられるなど予想を超える反響でありました。

HVAC&R JAPAN 2000が来場者の皆様並びに出展各社の新たなビジネスチャンスの創造の場となり、景気回復への一歩となったことを確信するものであります。

今後共、業界を挙げてオゾン層保護、地球温暖化防止、リサイクル対応など社会への貢献をより一層果たしてゆきたいと存じます。

結びに、このような大成功を取めることが出来ましたのも、ひとえに関係各官公庁をはじめ、協賛の諸団体並びに出展各社、更には報道関係各社のご支援、ご協力の賜と深く感謝申し上げる次第です。ここにHVAC&R JAPAN 2000の結果をご報告申し上げるとともに、次回の開催に向けてより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

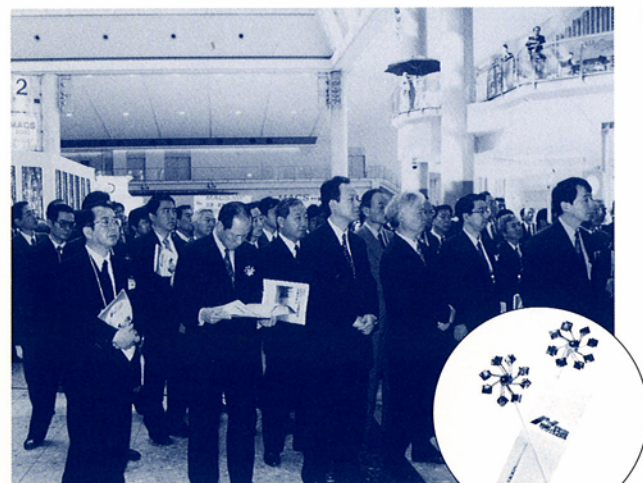


社団法人日本冷凍空調工業会
会長 井上 礼之

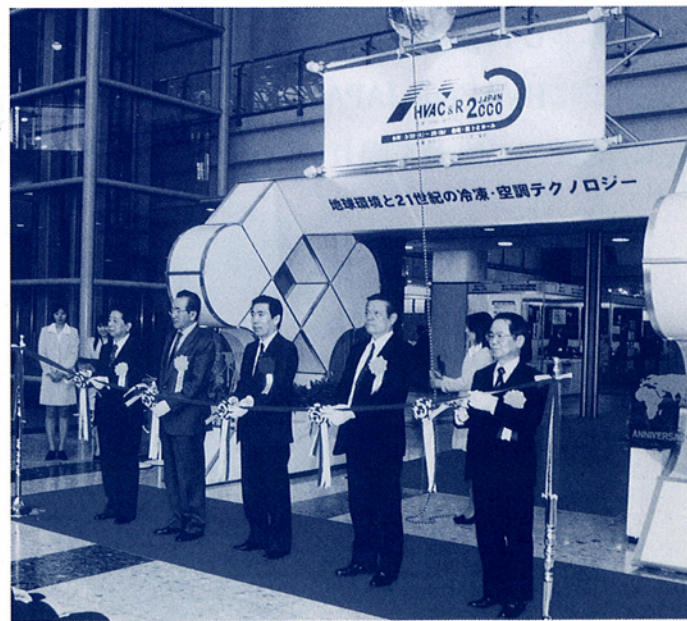
◆ 実施概要 ◆

展示会名称	HVAC & R JAPAN 2000 (ヒーバックアンドアールジャパン)
会 期	2000年2月22日 (火) ~25日 (金) 4日間 10:00~17:00 (最終日は16:00まで)
会 場	東京ビッグサイト (東京国際展示場) 西展示場 (西1・2ホール)
主 催	社団法人 日本冷凍空調工業会
特別協賛	日本暖房機器工業会
後 援	通商産業省 農林水産省
協 賛	ウレタンフォーム工業会 社団法人 空気調和・衛生工学会 社団法人 建築業協会 社団法人 建築設備技術者協会 高圧ガス保安協会 財団法人 住宅・建築省エネルギー機構 財団法人 住宅産業情報サービス 財団法人 省エネルギーセンター 新エネルギー・産業技術総合開発機構 財団法人 新エネルギー財団 社団法人 全国建設業協会 全国電機商業組合連合会 社団法人 ソーラーシステム振興協会 電気事業連合会 社団法人 日本ガス協会 社団法人 日本ガス石油機器工業会 社団法人 日本機械工業連合会 社団法人 日本空気清浄協会 社団法人 日本空調衛生工事業協会 社団法人 日本産業機械工業会 日本自動機器工業会 社団法人 日本自動車車体工業会 日本自動販売機工業会 社団法人 日本住宅設備システム協会 社団法人 日本設備設計事務所協会 社団法人 日本セルフサービス協会 日本太陽エネルギー学会 日本チェーンストア協会 日本電気大型店協会 社団法人 日本電気計測器工業会 社団法人 日本電機工業会 社団法人 日本バルブ工業会 日本フォームスチレン工業組合 日本フルオロカーボン協会 社団法人 日本ボイラ協会 日本保温保冷工業協会 日本床暖房工業会 日本冷却塔工業会 社団法人 日本冷凍空調学会 社団法人 日本冷凍空調設備工業連合会 社団法人 日本冷凍食品協会 発泡スチレン工業会 財団法人 ヒートポンプ・蓄熱センター 社団法人 プレハブ建築協会

展示規模	124社 504小間
入 場 料	無料 (登録制)
併 催 行 事	日冷工創立50周年特別企画展示コーナー、講演会、 出展者プレゼンテーション、施設見学会
同 時 開 催	第6回空調・衛生総合機材展 (MACS)



▲開会式参加者には空調や風をイメージした
かざぐるまが入場者証として配られました。



▲開会式 左から西見副会長、井上会長、通産省機械情報産業局 太田局長、
池田副会長、八木展示会部会長

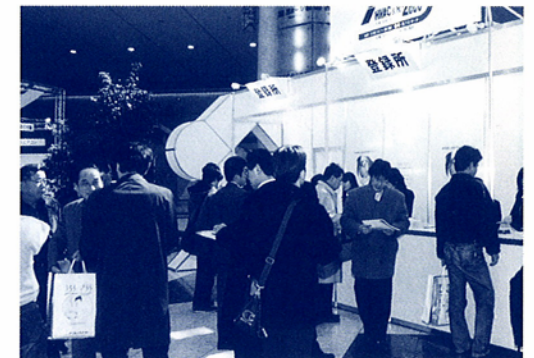
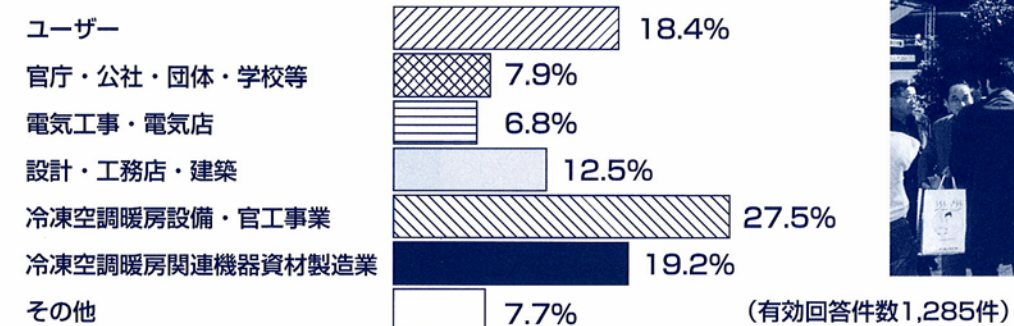
◆ 来場者数・来場者概要 ◆

出展各社・関係者の顧客への意欲的なDM・プロモーションと、天候に恵まれたことにより
前回 ('98年) を上回る来場者数をカウントしました。

HVAC&R JAPAN 2000来場者数

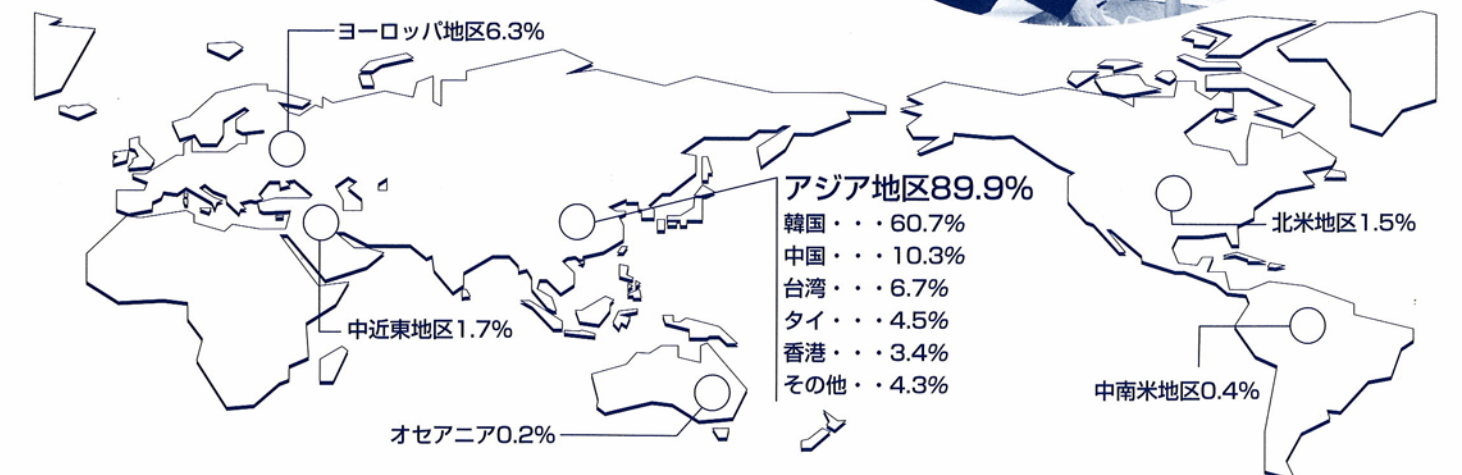
開催日	天 候	来場者数	内 海外来場者数	累 計
2月22日 (火)	晴れ	21,005人	1,319人	
2月23日 (水)	晴れ	25,317人	1,039人	46,322人
2月24日 (木)	晴時々曇	24,304人	852人	70,626人
2月25日 (金)	晴れ	25,823人	443人	96,449人
合 計		96,449人	3,653人	

来場者 業種別内訳



海外来場者 地域別内訳

計33カ国より、前回の3倍となる3,653名の方が来場されました。
アジアからの来場者が飛躍的に増加しました。



◆ 50周年特別企画 ◆

(社)日本冷凍空調工業会の創立50周年を記念して、
アトリウムに特別企画展示コーナーが設置されました。

当コーナーでは、冷凍空調産業がこれまで歩んできた歴史を振り返る年表、機器の技術的な進化をあらわす実機比較展示に加え、当産業の社会貢献と地球環境への取組みが盛りだくさんの内容で発表されました。



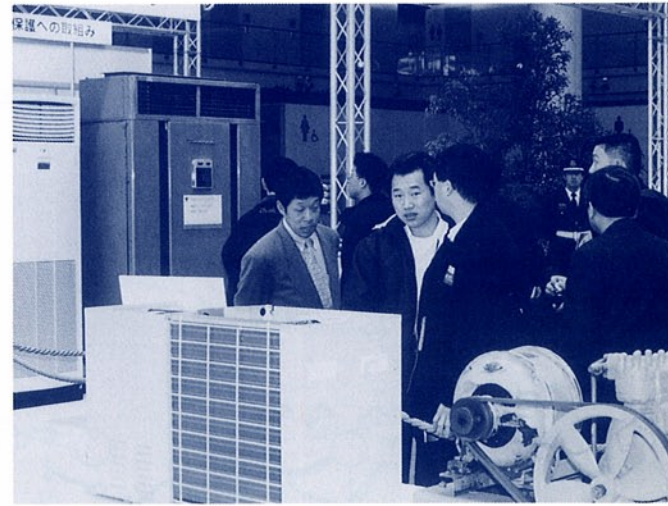
「社会基盤で活躍する冷凍空調技術」

■ 何げない街の景観ですが、至るところで冷凍空調技術が活躍しています。



「冷凍空調産業の歴史と発展」

■ 写真・イラスト入りの年表で、太古から現在までの冷凍・空調技術の進歩を表現。



「冷凍空調機器の今昔」

■ 初期の冷凍・空調機器を現在の機器と比較展示。質量・設置面積・消費電力等を比べてみると、冷凍・空調機器がいかに進歩したかがわかります。

◆ 50周年特別企画 ◆



「オゾン層保護・地球温暖化防止への取組み」

■ オゾン層保護問題と地球温暖化防止問題の概要及び国際的な協議と日本の活動についてわかりやすく解説。

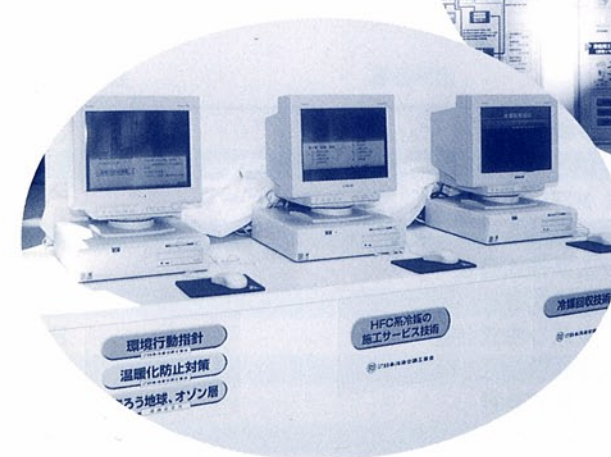
社団法人 日本冷凍空調工業会 50周年特別企画



「地球環境保護への冷凍・空調業界の取組み」

■ 地球環境保護への当工業会の基本的な考え方と活動状況を展示。

冷凍・空調機器の使用者や販売・工事業者等に理解を深めていただくことを主な目的としています。

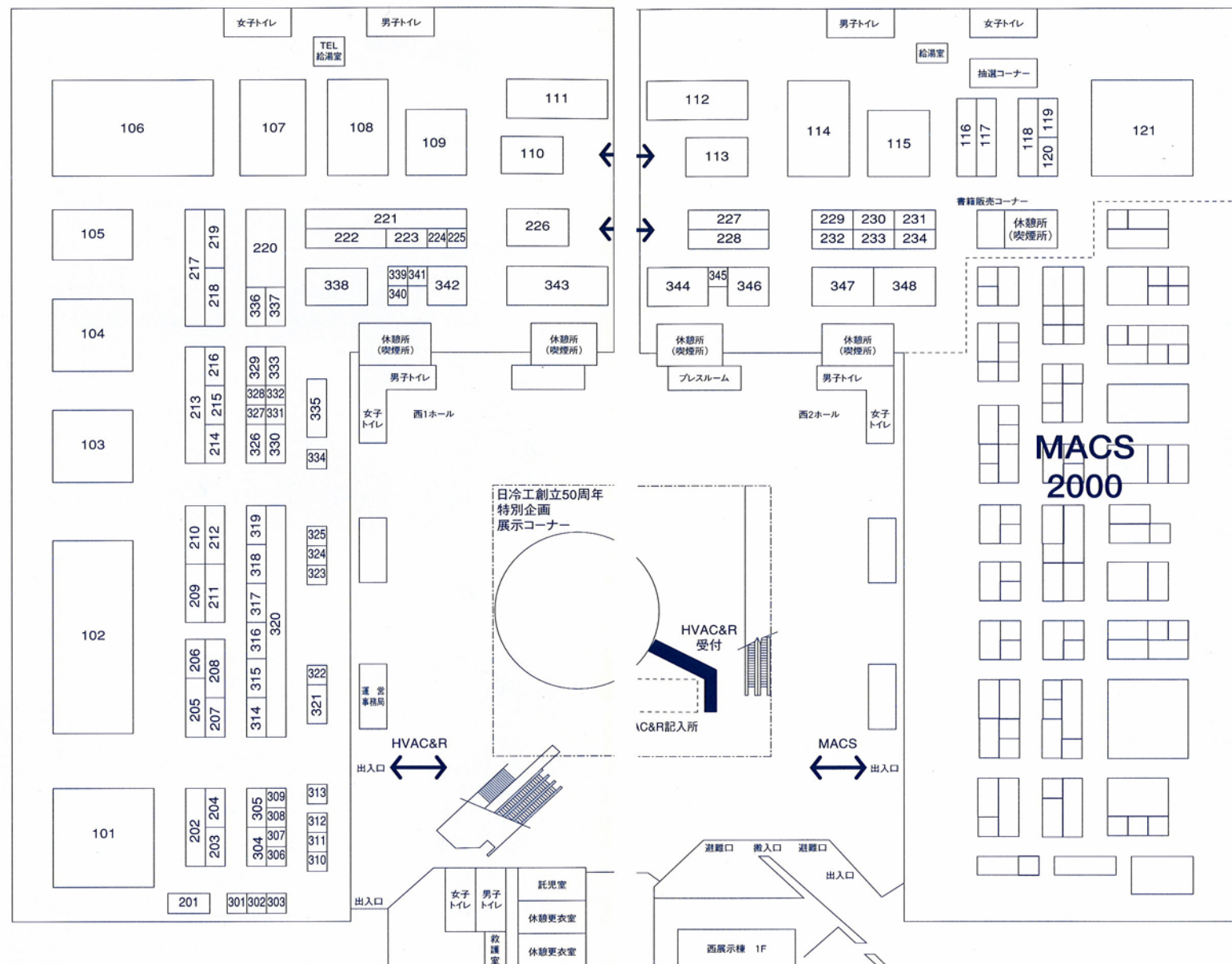


パソコンコーナー

■ 更なる情報収集のためのコーナーとして、HFC系冷媒の施工サービス技術及び冷媒回収技術等を紹介しました。

◆ 出展企業 団体一覧 ◆

出展者名	会場小間番号
アイシン精機株式会社 (GHPグループ)	102
青山金商株式会社	216
アサダ株式会社	208
旭ハネウェル株式会社	223
アルファ・ラバル株式会社	342
株式会社イズミ技研	206
伊藤冷機工業株式会社	332
因幡電機産業株式会社	343
株式会社イノアックコーポレーション	346
ebmインダストリーズジャパン株式会社	207
株式会社いんぱつと	320
内山商事株式会社	232
エシエロン・ジャパン株式会社	315
株式会社エヌ・エス・シー	233
株式会社荏原製作所	114
* 荏原ボイラ株式会社	
* 株式会社荏原アクアクリニック	
オーケー器材株式会社	105
株式会社オーデン	335
株式会社桂精機製作所	119
関東器材工業株式会社	201
株式会社キッツ	345
木村工機株式会社	222
株式会社キャッチャー	112
協立エアテック株式会社	116
株式会社極東商会	213
* 文化貿易工業株式会社	
株式会社空調タイムス社	302
株式会社国盛化学	325
栗田工業株式会社	347
グルンドフォスポンプ株式会社	111
株式会社ケイアンドジェーコーポレーション	215
株式会社ケーヒン	231
小池酸素工業株式会社	117
* 小池化学株式会社	
* カラーガス株式会社	
株式会社神戸製鋼所	212
株式会社コスモ・ソフト	219
* 株式会社コンプケア	
株式会社鷺宮製作所	221
佐竹化学機械工業株式会社	319
三洋電機株式会社 (GHPグループ)	102
* 三洋電機空調株式会社 (GHPグループ)	
三洋電機株式会社	103
* 三洋電機空調株式会社	
株式会社ジアン	313
* 株式会社ソーラーシステム研究所	
株式会社ジェイエムエス	329
* ACR SYSTEMS INC.	
株式会社シグマ	331
ジャテック株式会社ロビネアディビジョン	118
正栄株式会社	218
ショーワ株式会社	120
株式会社眞洋商会	327
* 森村商事株式会社	



出展者名	会場小間番号
進和テック株式会社	326
スウェップ ジャパン株式会社	344
* スウェップ インターナショナル エービー	
株式会社西部技研	334
ダイキン工業株式会社	106
タカギ冷機株式会社	110
タスコジャパン株式会社	217
田中産業株式会社	324
ダンフォス株式会社	111
株式会社長府製作所	228
* 東洋貿易株式会社	
株式会社デンソー	109
株式会社電波新聞社	303
東京ガス株式会社	102
東京電力株式会社	107
東芝キャリア株式会社	101
* 東芝キャリア空調システムズ株式会社	

出展者名	会場小間番号
株式会社東洋製作所	104
東洋ラジエーター株式会社	225
東レペフ加工品株式会社	317
株式会社トヨックス	230
株式会社中島自動車電装	224
株式会社ナカツ	233
日電工業株式会社	229
日商株式会社	333
日新機械興業株式会社	339
日本エマソン株式会社 コーブランド事業部	210
日本スウェーゴロック株式会社	318
* 西東京バルブ・フィッティング株式会社	
株式会社日本フロー・コントロールズ	209
日本ランコ株式会社	314
* 東洋ロバートショウ株式会社	
社団法人日本冷凍空調学会	312
社団法人日本冷凍空調設備工業連合会	311

出展者名	会場小間番号
株式会社日本冷凍冷蔵新聞社	310
株式会社熱産業経済新聞社	301
ネミー株式会社	202
ピーエス工業株式会社	220
* ピーエス株式会社	
ビカ・ジャパン株式会社	340
* ヴィカ・アレキサンダーヴィーガンドゲーエムペーハー	
株式会社日阪製作所	113
日立金属株式会社	211
株式会社日立空調システム	121
* 株式会社日立製作所	
富士インジェクタ株式会社	341
株式会社不二工機	338
株式会社富士ロック	323
扶桑理化学製品株式会社	306
株式会社前川製作所	226
松下電器産業株式会社	115
* 松下冷機株式会社	
* 松下精工株式会社	
三菱ガス化学株式会社	203
* ダイヤ水処理サービス株式会社	
三菱重工業株式会社 (GHPグループ)	102
三菱重工業株式会社	104
三菱電機株式会社	108
源冷機部品株式会社	227
美浜株式会社	330
ムンタース株式会社	205
メッセ・フランクフルト株式会社	321
* メッセ・フランクフルト GmbH	
株式会社モリカワ	214
八洲興業販売株式会社	337
ヤンマーディーゼル株式会社 (GHPグループ)	102
ユーキャン株式会社	348
ユーシー産業株式会社	328
横浜油脂工業株式会社	336
ライボルト株式会社	322
* LEYBOLD INFICON INC.	
ローディアジャパン株式会社	234
渡辺電機工業株式会社	316

< 海外直接出展者 >	
CASTEL ENGINEERING SA	305
* ASPEN PUMPS AND BBJ ENGINEERING ACCESSORIES	
J.W. HARRIS CO., INC.	307
LEITCH, DIV OF TACO, INC.	308
* ハル・コーポレーション	
METTUBE SDN BHD	304
OVENTROP VALVES AND SYSTEMS	309
* ハル・コーポレーション	
SYSTEMAIR AB	204
* KANALFLAKT INC.	

* 印は共同出展者

◆ 併催行事 ◆

講演会

日時：2月22日（火）

会場：東京ビッグサイト 会議棟1F レセプションホールB

テーマは省エネルギー。地球温暖化防止対策として最も必要な省エネルギー施策の全貌とビルシステムとしての省エネ設計及び電力負荷平準化のための技術について幅広く論じられました。

■ 基調講演 13:00～13:50（聴講者数214名）

「地球温暖化防止対策の国際交渉と日本の現状～今、なぜ省エネか～」



通商産業省 資源エネルギー庁
省エネルギー対策課長

稲垣 謙三氏

■ 講演Ⅱ-1 15:00～15:40（聴講者数236名）

「蓄熱によるエネルギー有効利用の現状と新たな取り組み」



東京電力株式会社
エネルギー営業部長

片倉 百樹氏

■ 講演Ⅰ 14:00～14:50（聴講者数198名）

「建築計画における省エネシステム計画～空調を中心として～」



株式会社日建設計
取締役

松縄 堅氏

■ 講演Ⅱ-2 15:50～16:30（聴講者数187名）

「ガス空調によるエネルギーの有効利用」



東京ガス株式会社
エネルギー企画部 部長

緒形 憲氏

日時：2月23日（水）

会場：東京ビッグサイト 会議棟6F（607, 608）

テーマは冷媒対応。オゾン層保護対策と地球温暖化防止対策を考慮した国際／国内施策とHFC系冷媒及び非フロン系冷媒の現状と将来について幅広く論じられました。

■ 基調講演 13:00～13:50（聴講者数342名）

「オゾン層保護と地球温暖化防止～世界の動きと日本の施策～」



通商産業省 基礎産業局
オゾン層保護対策室長

河野 春彦氏

■ 講演Ⅱ 15:00～15:50（聴講者数342名）

「非フルオロカーボン系冷媒の現状と将来」



東京大学工学部
機械工学科教授

飛原 英治氏

■ 講演Ⅰ 14:00～14:50（聴講者数402名）

「HFC系冷媒の現状と将来」



ダイキン工業株式会社
機械技術研究所 副所長

樽谷 勇氏

■ 特別講演 16:00～16:50（聴講者数211名）

「代替冷媒と対応技術」



コーブランド社
技術担当副社長

アール ムアー氏

◆ 併催行事 ◆

出展者プレゼンテーションプログラム

各社の多彩な新製品・新技術の発表の場となった出展者プレゼンテーション。

日時：2月24日（木）

会場：東京ビッグサイト 会議棟6F（607, 608）

	聴講者数
■ セッション1 11:00～11:45 スウェップ ジャパン株式会社 「冷凍・空調におけるブレイジング式熱交換器」	43名
■ セッション2 12:00～12:45 ダイキン工業株式会社 「既設冷媒配管流用の新冷媒システム<ネクストマルチ>について」	41名
■ セッション3 13:00～13:45 株式会社前川製作所 「排水凍結濃縮システム」	29名
■ セッション4 14:00～14:45 小池化学株式会社 「ハイドロカーボン冷媒の現状について」	47名
■ セッション5 15:00～15:45 三菱重工業株式会社 「三菱重工の省エネルギーと環境保全への取り組み（空調・冷凍）」	46名



施設見学会

日時：2月24日（木）13:00～14:00

参加人数：20名

見学施設：有明南プラント（地域冷暖房）東京臨海熱供給（株）



二重効用蒸気吸収冷凍機

電動ターボ冷凍機

抽選会

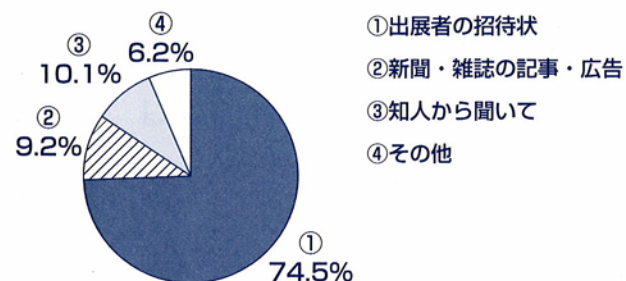
来場された方の約8割が抽選会に参加しました。
防災キット、ポータブルミシン、キッチンスケール
等、実用的でユニークな景品が当たりました。



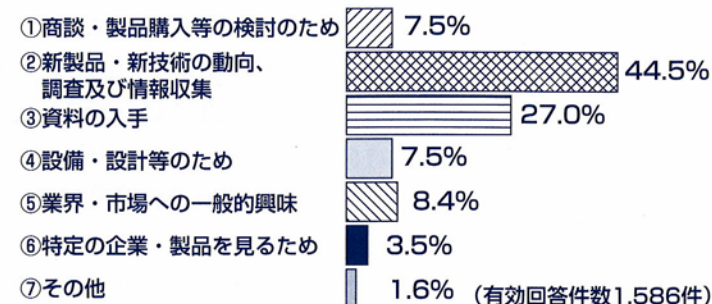
◆ 来場者アンケート ◆

来場者アンケート集計結果 [回答者数1,270名]

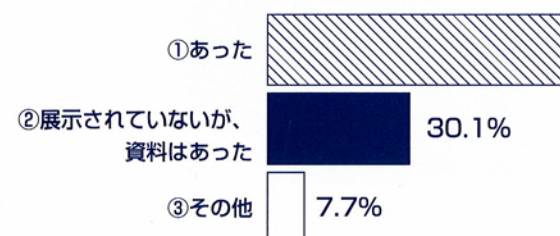
Q1. HVAC&R JAPAN 2000を 何でお知りになりましたか？



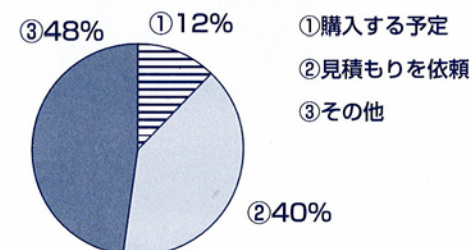
Q2. ご来場の目的は何ですか？（複数回答可）



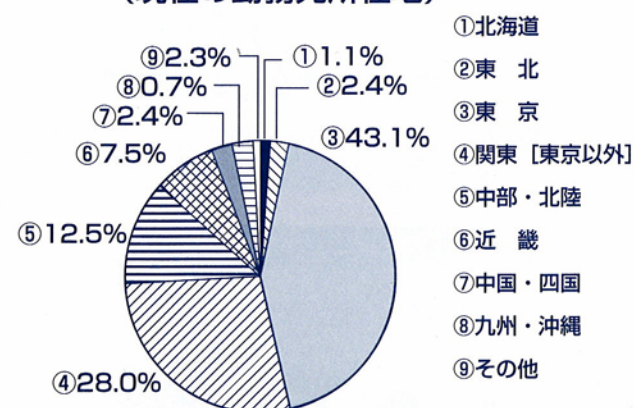
Q3. お目当ての 出展物・情報はございましたか？



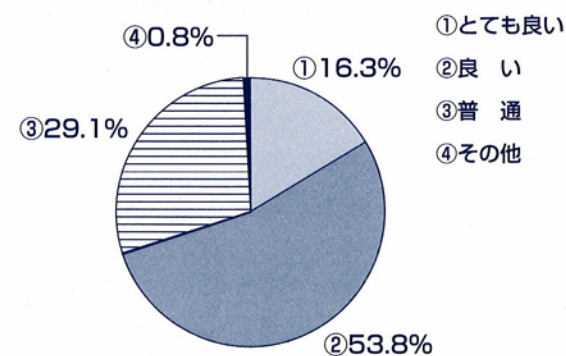
「あった」と答えた方の内訳



Q4. 本日はどちらから いらっしゃいましたか？ (現在の勤務先所在地)



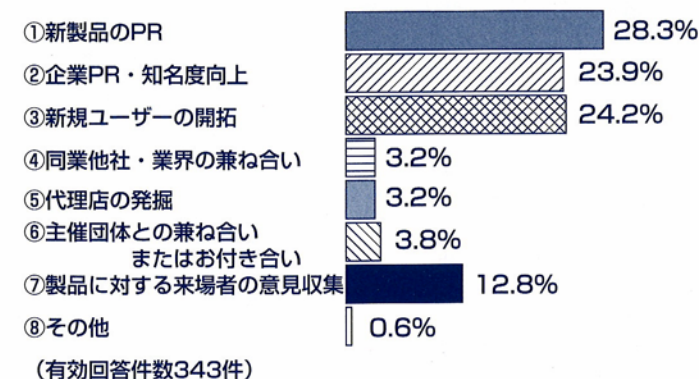
Q5. 日冷工50周年 特別企画展示コーナーについて



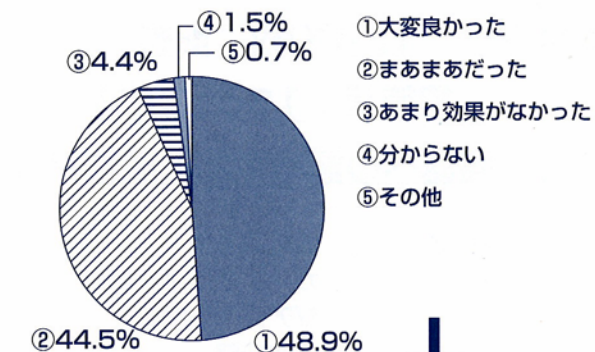
◆ 出展者アンケート ◆

出展者アンケート集計結果 [回答社数124社]

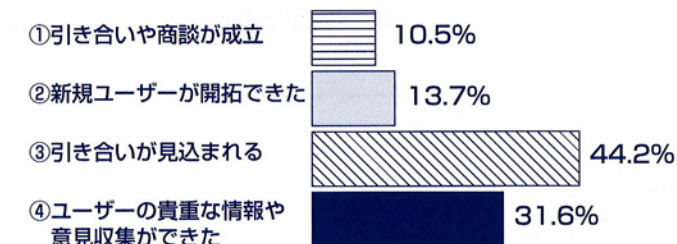
Q1. 今回出展された目的について（複数回答可）



Q2. 今回出展された感想について

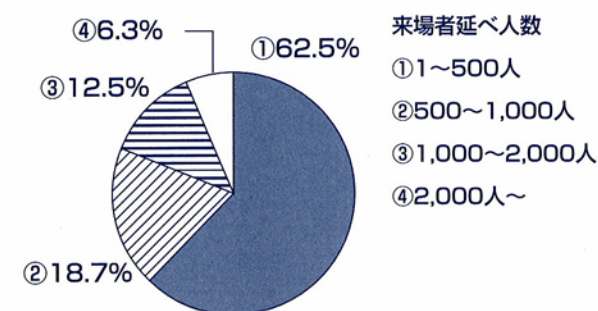
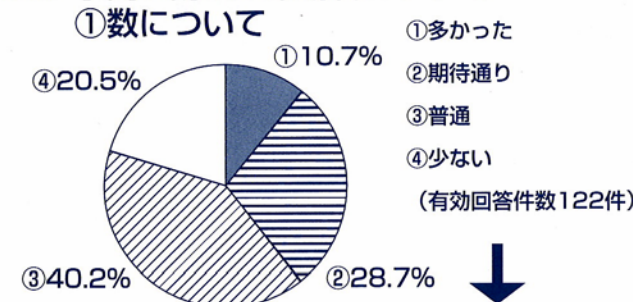


上記「Q2. ①大変良かった」と答えた方の内訳

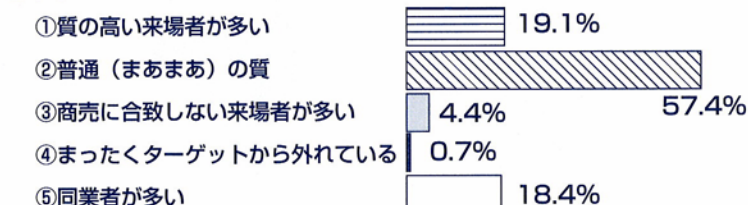


Q3. 小間を訪れた来場者について

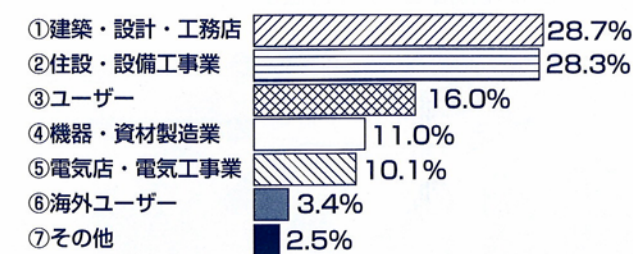
①数について



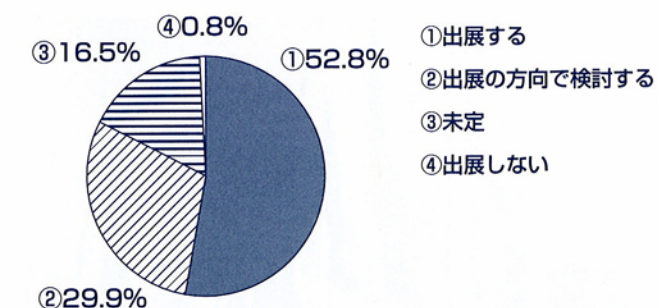
②質について



③最も希望される業種は（複数回答可）



Q4. 次回「HVAC&R JAPAN」への 出展について



◆ 広報・宣伝活動 ◆

来場者数は過去最高となる延べ96,449人。

綿密且つ精力的な広報・宣伝活動がこの結果に結びつきました。

○ポスター：1,000枚 配布

○招待状：160,000枚 配布

○新聞・雑誌への記事掲載・広告掲載

新聞・雑誌名	通産省公報	エアコン流通人
	ガスエネルギー新聞	空調タイムス
	ジアン（英字紙）	全ラ連新聞
	電波新聞	日刊工業新聞
	日経産業新聞	日本経済新聞
	日本工業新聞	日本冷凍冷蔵新聞
	熱産業経済新聞	冷食タイムス
		その他 多数媒体



▼招待状



▲ポスター

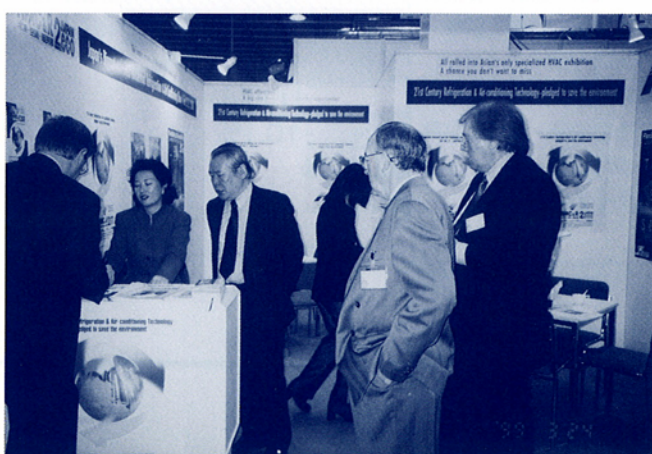
○ホームページ（http://www.jraja.or.jp）

出展各社のサイトと双方向のリンクを張り、PRに努めました。



○海外へのプロモーション活動

'99年3月、フランクフルトのISH（衛生・暖房・空調見本市）にてHVAC&R JAPAN 2000への出展・来場プロモーションを行いました。結果として海外からの直接出展・来場者とも大幅に増加しました。



◆ 広報・宣伝活動 ◆

○新聞・雑誌記事、その他告知

冷食タイムス 2月8日▼

▼日刊工業新聞 2月21日



▲日経産業新聞 2月21日



▲ガスエネルギー新聞 3月1日



▲商経管財新聞 2月16日



▲日本冷凍冷蔵新聞 2月10日



▲熱産業経済新聞 2月5日

▲週刊エアコン流通人

▲通産省公報 2月15日



▲ジアン 1月25日



▲空調タイムス 2月16日



◆ 次回予告 ◆

次回HVAC&R JAPAN 2002
(第32回冷凍・空調・暖房展)は、
2002年春に開催予定。
ご期待ください！

主 催



社団法人

日本冷凍空調工業会

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館

TEL (03)3432-1671 FAX (03)3438-0308

Homepage: <http://www.jraia.or.jp>

— 展示会についてのお問い合わせ —

HVAC&R JAPAN事務局

〒102-8646 東京都千代田区平河町2-7-4 砂防会館別館

TEL 03(3263)4126 FAX 03(3263)7077